

本日のプログラム

例会 第 2727 回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告
- 8.出席報告
- 9.スマイルBOX
- 10.本日の卓話
- 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・ 7月 27日(金)
卓話：櫻井武志君
- <7月広報担当>
室伏 学君
- ・ 8月 3日(金)
卓話：渡辺久恭君
- ・ 8月 10日(金)
休 会



湯河原
ロータリークラブ

会長 石田 浩二
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上
湯河原町宮上 566
湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶



先日補助金セミナーに参加させていただきました。
ロータリー財団とは、1916 年~17 年度会長アーチ・クランプが、ロータリーで基金を作り「何か良いことをしよう」と提案し、ロータリー財団の原型がと云うべきロータリー基金が 1917 年、(今年で 101 年) に創設されました。
その後 1928 年に、ミネスタポリス国際大会で「ロータリー基金」は「ロータリー財団」と改称され、1983 年に米国の非営利団体財団法人に認定され、国際ロータリーの「ロータリー財団」として活動しております。
日本では協力財団として 2010 年に公益財団法人として、ロータリー日本財団が認可されました。
毎年、全国のロータリアンクラブから寄せられる

15 億円前後の寄付金は、ロータリー財団を通して奨学金、平和フェロー、ポリオ、クラブ奉仕プロジェクトなどの補助金などに多く使われて、支援しております。
寄付金は 3 年後に補助金として半分 50%を地区に還元しているそうです。
是非とも、補助金を使って何か活動してほしいとの地区の趣旨でした。
今年申請をして、次年度に何かをする形にして行きたいと思っておりますので、平間会長エレクトに向けて、今年度は私の会長年度で準備を進めていきたいとおもいますので、何卒宜しくお願いします。

スマイルBOX

7月 20日~26日

- 会員誕生日 石川 博君 (7/22)
小倉高代君 (7/23)
- ご夫人誕生日 荻谷和彦君 (和美様・7/22)
・室伏 学君
JR 旅連湯河原地区支部が中心となり、JR 横浜駅で誘客キャラバンを実施し、7月 14日の「日刊相豆」に掲載されました。
・納涼縁日のおあそび券をいただいたので全員でスマイル



出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 6名 (免除者 1名)		前回の修正出席率 81.82%
	出席率 78.26%		前々回の修正出席率 95.83%

事前メイクアップ 0名



平成 30 年 7 月 20 日(金)

天候 晴れ

合唱 奉仕の理想



国際ロータリー 2018-19

RI 会長 バリー・ラシン

第 2780 地区

ガバナー 脇 洋一郎



インスピレーションになろう

<ガバナーより>

1. 米山奨学セミナー&サマー研修会開催のご案内

日時：8月25日(土) セミナー 14:00~15:35 研修会 15:45~17:00

場所：アイクロス湘南6階「E会議室」 米山委員長の都合がつかない時は、必ず代理の方の出席をお願いします。

回答期限：8月17日(金) 7月西日本豪雨による被害地への義捐金協力依頼

2. 西日本の記録的な豪雨による被害地域への義援金を地区としてまとめて送ることに致しました。支援先地区につきましてはガバナー会で相談して決めてまいります。何卒、皆様の心温まるご支援をお願いいたします。

寄付の目安として、1人当たり1,000円以上をお願いします。尚、8月10日(金)までのご送金下さいませようお願い申し上げます。

<本厚木ロータリークラブより> 国際ロータリー加盟認証状伝達式のご案内

日時：10月20日(土) 17時より 場所：レンブラントホテル厚木

会費：お一人様10,000円 回答期限：8月31日(金)

<連絡事項> 観光協会より納涼縁日のおあそび券が届きましたので、皆様にお配り致します。

卓話: 室伏 学君

「第三回 三遊亭小遊三 一門会 七夕寄席」

平成30年7月7日、私が専務理事を務める、湯河原温泉旅館協同組合の主催で「第三回 三遊亭小遊三 七夕寄席」が開催されました。寄席終了後に高知尾会員の青巒荘さんで開催された、夕食懇親会に旅館協同組合理事長の代理として急遽出席し、噺家の方々と会食し、2次会含めて深夜まで一緒しました。落語家さん側の出席者は4名、ご接待するこちら側は私を含めての5名の宴席でした。そこで、本日はこの「三遊亭小遊三 一門会」について、お話しさせていただきます。

「三遊亭小遊三」一門の皆さんが所属する「公益社団法人落語芸術協会」は、先般お亡くなりになったばかりの「桂歌丸」さんが長年に渡り会長を務めていらして、会長在職のまま、お亡くなりになったそうです。副会長を務めていらした「小遊三」さんが、現在は会長代行を兼務していらっしゃいます。

「三遊亭小遊三」さんという名前は名跡(みょうせき)で2代目だそうです。昭和43年4月に三代目「三遊亭遊三」さんに入門しました。昭和58年から日本テレビ「笑点」の大喜利レギュラーとして活躍中。古典落語が専門で、持ちネタは多く、時事ネタやカタカナを多く取り入れる独自のアレンジを得意としていらっしゃいます。

さかのぼると「三遊亭圓遊」さんという名跡がルーツで、この「遊」という文字を受け継いでいらして、広い意味では「圓遊一門」ともいえるとのこと。

一番弟子の「三遊亭圓丸」さんの階級は「真打」、元は男性ファッション雑誌のモデルや、プロレスのリング・アナウンサーも務めていらしたそうです。

弟子の「三遊亭遊之介」さんも「真打」で、平成14年には「東京芸術大学」で「舞台芸術論」の講師もお務めになりました。

女性の「三遊亭遊七」さんは、「遊之介」さんのお弟子さんで、階級は「前座」です。今回は古典の「まんじゅうこわい」をご披露くださいました。

落語の世界では「ネタ選び八割」という言葉があり、この「ネタ選び」が非常に重要とのこと。前座から何人もの噺家さんが落語を披露する訳ですが、演目はもちろんのこと、ジャンルもかぶらないように配慮するのだそうです。例えば「勘違い」のネタを披露した方がいらしたら、後の方は「勘違い」ネタを避ける、また、先に「与太郎」ネタを披露されたら、後の方は「与太郎」ネタを避けるのだそうです。経験を多く積んだ真打の方が多くの持ちネタをお持ちで選択肢が多いので、如何様にも対応できるのですが、反対に後から師匠や兄弟子さんやりそうなネタは前座が遠慮して避けるのだそうです。

今回のゲストは「春風亭昇太」さんでした。東海大学の学生時代にテレビ東京の「大学対抗落語選手権」で優勝、テレビ朝日の「ザ・テレビ演芸」に漫才コンビで出場し、初代グランドチャンピオンになったのを機に大学を中退して、昭和57年「春風亭柳昇」さんに入門しました。平成18年からは「笑点」の大喜利メンバーとなり、平成28年からは「笑点」の6代目司会者に就任し、現在に至ります。

「色物」として、「紙切り」の女性「林家 花」さんがいらっしゃいました。

寄席において落語と講談以外の芸を「色物」といいます。寄席の「めくり」で、落語、講談の演目は黒い墨で書かれ、それ以外は主に朱色の墨で書かれたことに由来します。「紙切り」は、その名の通り、紙を鋏で切って形を作る伝統芸能です。現在は作ることでできる方がいないそうで、「花」さんも「今丸」師匠からいただいた鋏1本を大切に使い続けられているそうです。落語などの他の芸と違い、持ち帰れるものがあるというのが、大きな魅力のひとつだそうです。

当日は16時から18時40分の2時間40分、湯河原観光会館3階大ホールに約550名の観客で超満員、爆笑に次ぐ爆笑でした。尚、前売りチケットは2,500円、当日券は3,000円でした。来年も同じ七夕の7月7日に開催予定ですので、皆様もお誘いあわせの上、お出かけください。

